

1

## ウツンファイバー施用 実証事業報告

宮崎みどり製薬株式会社  
営業部 バイオマス課 手嶋大典

2

### 施用目的

#### 土のえさ (C)

1. セルロース
  2. ヘミセルロース
- \* リグニンを低分子化した植物繊維

↓  
微生物のえさ

#### 作物のえさ (N)

1. 化学肥料
  2. 有機質堆肥 (= 畜糞堆肥)
- \* C/N比が重要

**重要！！**

C: 植物繊維  
N: タンパク源

3

### 平成30年度土壌用ウツンファイバー販売実績

#### 施設栽培

| 継続施用農家 |        |          | 新規施用農家 |        |          |
|--------|--------|----------|--------|--------|----------|
| 戸数     | 総面積(a) | 販売総数量(t) | 戸数     | 総面積(a) | 販売総数量(t) |
| 31     | 968    | 64       | 21     | 634    | 62       |

#### 露地栽培

| 新規施用農家 |        |          |
|--------|--------|----------|
| 戸数     | 総面積(a) | 販売総数量(t) |
| 7      | 104    | 9        |

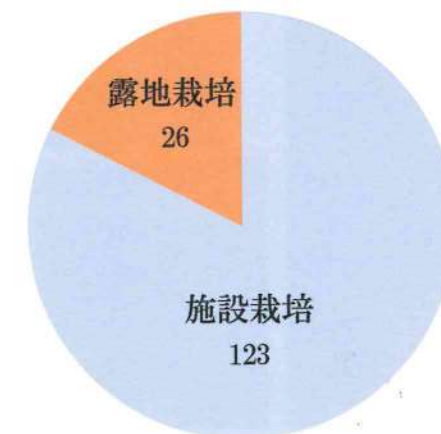
### 平成28年7月～平成30年9月土壌用ウツンファイバー販売実績

| 戸数  | 総面積(a) | 販売総数量(t) |
|-----|--------|----------|
| 149 | 5480   | 454      |

4

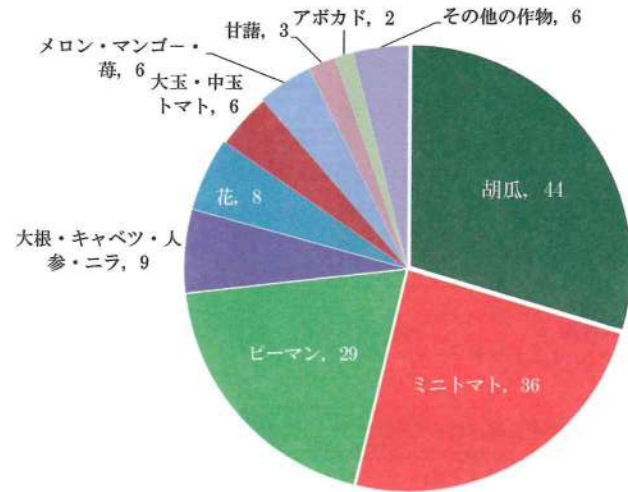
土壌用ウツンファイバー施用  
実証事業

### 共同試験施設栽培・露地栽培農家数(戸)



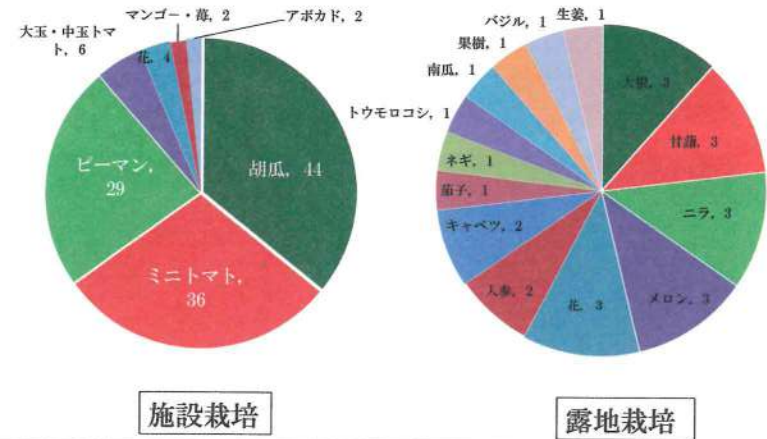
5 土壌用ウットンファイバー施用  
実証事業

共同試験作物別総農家数(戸)



6 土壌用ウットンファイバー施用  
実証事業

共同試験作物形態別総農家数(戸)

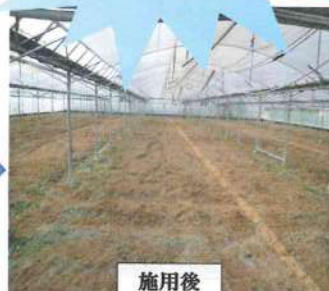


7 土壌用ウットンファイバー施用  
実証事業

施用法

今年度・・・10aにつき1t～3t  
次年度・・・CEC測定により施用

地力増進及び安定に施用



8 土壌用ウットンファイバー施用  
実証事業

施用法

H30年度10月以降

- ① 土壌のCEC(塩基交換容量/肥料の保持力)を測定
- ② ウットンファイバー施用量を決定

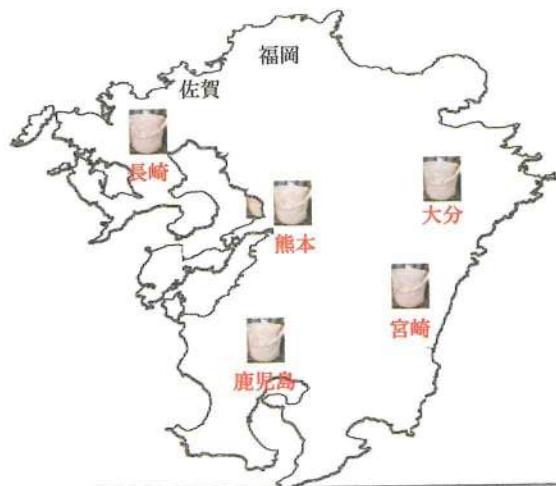
地力はCEC(塩基交換容量/肥料の保持力)を測定し判断されている。農林水産省マニュアルに沿って測定

CEC(塩基交換容量/肥料の保持力)の数値の目安  
培土 40 優良土壌 20



9 土壌用ウットンファイバー施用  
実証事業

## 宮崎から九州管内へ拡販！！



11 土壌用ウットンファイバー施用  
実証事業(熊本県八代市)



圃場主：高見晶一様  
住 所：熊本県八代市  
栽培品目：大玉トマト/ミニトマト  
栽培面積：1.1ha  
栽培形態：促成・土耕  
ウットンファイバー施用目的：排水性の改善  
ウットンファイバー施用量：1t/10a



圃場主：宮本浩光様  
住 所：熊本県八代市  
栽培品目：大玉トマト/ミニトマト  
栽培面積：1ha  
栽培形態：促成・土耕  
ウットンファイバー施用目的：排水性の改善  
ウットンファイバー施用量：1t/10a

10 土壌用ウットンファイバー施用  
実証事業

## 熊本県



圃場主：山内裕二様  
住 所：熊本県八代市  
栽培品目：大玉トマト/ミニトマト  
栽培面積：75a  
栽培形態：促成・土耕  
ウットンファイバー施用目的：排水性の改善  
ウットンファイバー施用量：1t/10a



トマトの生産量の  
都道府県ランキング  
熊本県1位(平成28年)

12 土壌用ウットンファイバー施用  
実証事業

## 長崎県



圃場主：松尾佳樹様  
住 所：長崎県諫早市  
栽培品目：胡瓜  
栽培面積：20a  
栽培形態：促成・土耕  
ウットンファイバー施用目的：排水性の改善  
ウットンファイバー施用量：2t/10a



13 土壌用ウットンファイバー施用  
実証事業

宮崎県内

**NEWS RELEASE** **M**  
The Mizuaki Bank, Ltd.

平成29年8月2日  
宮崎県 宮崎銀行

【本報記者の報告】  
農業法人「株式会社夢違いファーム」の施設について  
— 宮崎県内の農業でアボカド栽培を始めた！ —

株式会社宮崎銀行（以下「宮銀」）は、地元産者の取り組みの一環として、地元産の農業である農業法人に積極的に取り組むため、下記のとおり農業法人株式会社夢違いファームと提携しアボカドの生産・出荷を支援いたします。  
夢違いファームは、宮崎県宮崎市宮原の地でアボカドの栽培を始めた。宮崎の農業を活性化し、地元産品の供給を促進するために取り組んでいます。

【農業法人の概要】

|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 会社名  | 株式会社夢違いファーム                     |
| 役員   | 代表取締役 橋口 仁一                     |
| 所在地  | 宮崎県宮崎市宮原4丁目1番地2                 |
| 事業内容 | アボカド栽培                          |
| 従業員  | 農場員として約10名（将来的に地元産品より雇用を拡大する予定） |
| 設立日  | 平成29年8月2日（仮）                    |

【お問い合わせ先】  
株式会社宮崎銀行 地方振興部  
宮崎支店  
電話：0985-32-1122

宮崎銀行

14 土壌用ウットンファイバー施用  
実証事業（宮崎県内）

圃場主：株式会社夢違いファーム  
住 所：宮崎市  
栽培品目：アボカド  
栽培面積：10a  
栽培形態：促成・土耕  
ウットンファイバー施用目的：土壌中の酸欠を改善  
ウットンファイバー施用量：1t/10a



3年目から約1トンの出荷開始を目指す！

15 土壌用ウットンファイバー施用  
実証事業

宮崎県内



硝酸態窒素を意識した肥培管理に取り組んで頂いた！

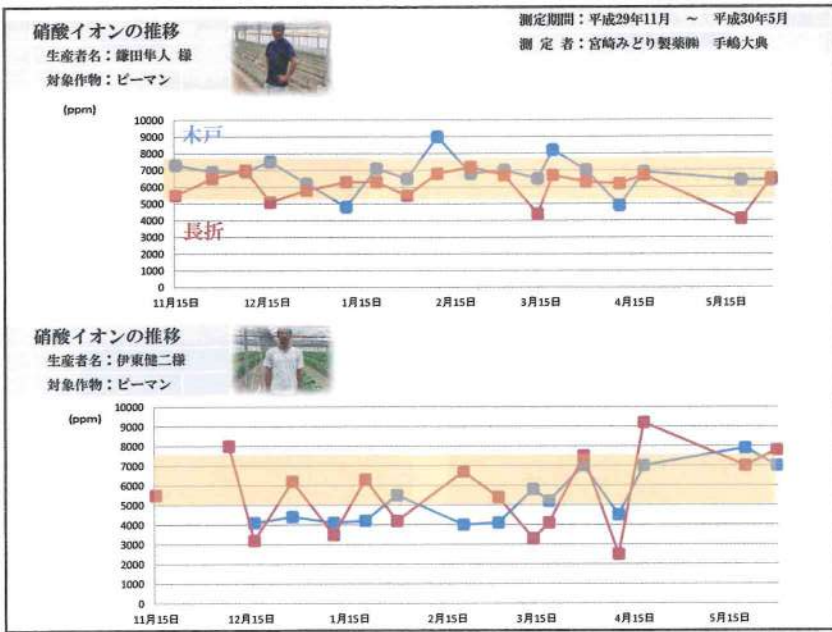


16 硝酸イオンの測定

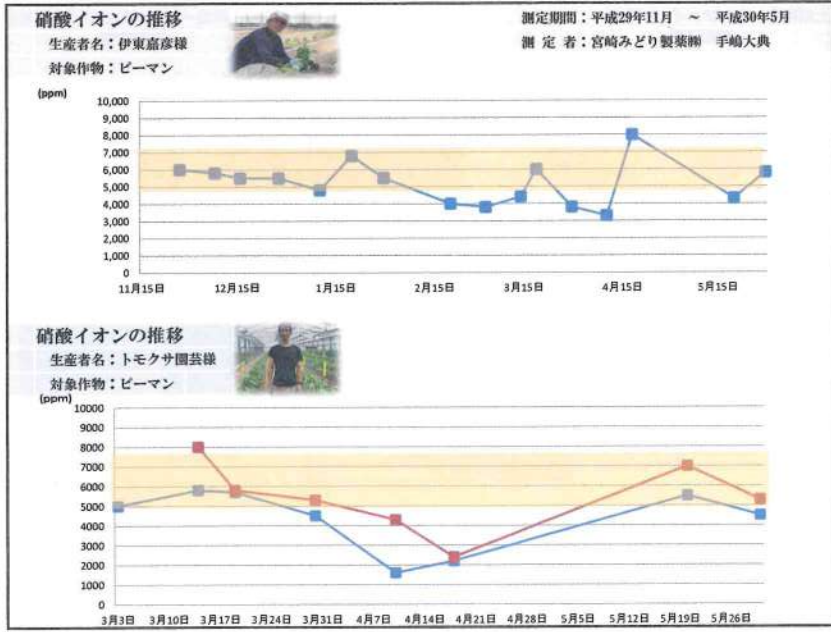


地元生産者15件と共に、過去二年間（3回/月）の硝酸態窒素の計測を行い、蓄積したデータを基に弊社独自の適正基準を定めた。  
※グラフの黄色範囲

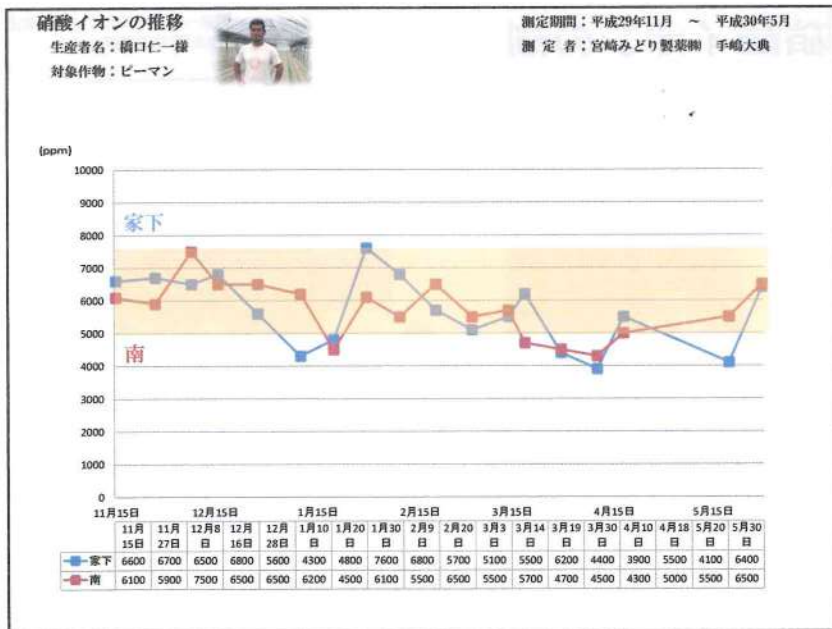
17



18



19



20



21

## 来年度の取り組み

1. ウットンファイバーとサンネッカE  
施用後の微生物活性測定

22

## 来年度の取り組み

### 2. 循環型農業の推進

土壤の地力をCECで判断



微生物が常時生存可能な環境



農産物生産の向上



個々に阻害する要因を明確にする  
硝酸態窒素・リグニン・C/N比・土壤コロイドを認識



木材成分を利活用する事で改善

23

ご清聴有難うございました